



今月号は JA 鳥取県大会で決議した JA グループの目的（あるべき姿）  
「地域社会への貢献」についてお伝えします！

JA 自己改革  
第 16 号

JAグループは昨年11月21日のJA鳥取県大会で向こう3年間（2019～2021年）の取り組みを決議し、3つの目的（あるべき姿）の実現に向け、さらなるJA自己改革を推し進めていくこととしました。



- 「目的Ⅰ：持続可能な鳥取県農業の実現」
- 「目的Ⅱ：地域社会への貢献」
- 「目的Ⅲ：協同組合としての役割発揮」

日本の地域社会では、高齢化社会・過疎化など様々な課題がありますが、JAグループは地域に根付いた存在として食農教育などの活動展開・総合事業機能の発揮により、地域社会に貢献できるよう取り組みます。

目的Ⅱ：地域社会への貢献

1. 生活基盤の維持・強化

★地域を支える活動の充実

○ JAの支所を組合員の皆さまとの接点の最前線としサークル活動の支援や、外務活動を通じた見守り活動等に取り組みます。そして行政や他団体とともに地域のつながりを強めていくなど、地域を支える活動を充実させます。

★JAでの具体的取り組み

- ・支所を拠点とした協同活動
- ・社会福祉協議会と連携した活動（子ども食堂支援）



支所感謝デー



交通安全教室



ウォーキングと清掃活動



あぐりキッズスクール

2. 地域活性化につながるJA活動の充実

★農業を通じた食・環境への理解促進

○ JAあぐりキッズスクールや地域の子も達との体験交流をはじめとする食農教育活動の取り組みを情報発信し、さらなる食農教育活動を展開します。また、青壮年・女性組織などと連携し、JAおよび農畜産物がより身近に感じられる取り組みをすすめます。

★JAでの具体的取り組み

- ・学校給食への食材提供
- ・あぐりキッズスクール
- ・直売所を拠点とした消費者との交流会



★総合事業機能をいかした活動の展開

○ 様々な年代に向けて地域に根付くJAならではの総合事業を展開し、地域社会の活性化に結びつけます。

★JAでの具体的取り組み

- ・年金友の会や女性会等による各種スポーツ大会
- ・健康増進に向けた各種イベントの開催



上記のことの具体的な取り組みについては、随時広報誌等で皆さんに発信していきます。次号では、JA鳥取県大会で決議されたJAグループの「目的Ⅲ（あるべき姿）：協同組合としての役割発揮」の詳しい内容についてお伝えしていきます。